



外国人との和と輪

日時 8月3日 8:30~10:30

主催者 北方区サマースクーリング

参加者 北方区サマースクーリング(31名)

派遣講師 2名(中国、バングラデシュ)



中国



中国についてたくさんの写真を公開して話を進めてくれた。人口や万里の長城の話では驚いた参加者が「それにしてもデカイ！」と声をあげた。中華料理の写真には全員興味津々と言った顔。ひとつひとつの話に学校で習った知識を照らし合わせて考える姿が印象的だった。講師の先生も子どもならではのユニークな発想に感心しているようだった。

バングラデシュ



バングラデシュの民族衣装(サリー)姿で、バングラデシュ語の自己紹介から始まった。人口や歴史など多くのことを参加者に知ってほしかった様子。日本とバングラデシュの国旗が白と緑の色以外全く同じなことに全員興味を示した。バングラデシュ語で数字を0から5までみんなで数えて、上手に発表できたことにナハルさんはとても驚いていた。

《参加者の声》

- ・ みんなの前で中国語で1から10を発表したが、とても恥ずかしかった。
- ・ 中華料理おいしそうだった。北京ダック食べてみたい。
- ・ 一度中国に行ってみたいと思った。
- ・ 摩訶不思議！話がちょっと難しかった。
- ・ 知らないことばかりだった。バングラデシュ語は不思議な形をしていて面白かった。
- ・ サリーを初めて着てみたけど、不思議な感じだった。いつか外国に行ってみたいと思った。
- ・ ジャックフルーツが自分と同じくらいの重さにびっくりした。